

# Cordless SinkSnake

## K-46 Cordless SinkSnake™



### ⚠ 警告！

本取扱説明書をよくお読みの上、本ツールをご利用ください。取扱説明書の内容を正しく理解せずに使用すると、感電や火災、大けがを負う場合があります。

### K-46 Cordless SinkSnake™

下記のシリアル番号を記録し、銘板に記載されている製品のシリアル番号を保管してください。

シリアル  
番号

## 目次

|                                         |        |
|-----------------------------------------|--------|
| 機器シリアル番号記録欄 .....                       | 495    |
| 安全に関する記号表示 .....                        | 497    |
| 電動工具に関する一般的な安全上の注意事項 .....              |        |
| 作業区域に関する安全事項 .....                      | 497    |
| 電気に関する安全事項 .....                        | 497    |
| 作業者に関する安全事項 .....                       | 498    |
| 電動工具の使用および手入れ .....                     | 498    |
| バッテリー工具の使用および取扱い .....                  | 498    |
| 保守点検 .....                              | 499    |
| 本機に関する安全情報 .....                        |        |
| Cordless SinkSnake を安全にお使いいただくために ..... | 499    |
| RIDGID® 連絡先情報 .....                     | 500    |
| 概要 .....                                | 500    |
| 仕様 .....                                | 501    |
| 標準装備 .....                              | 502    |
| 運転前検査 .....                             | 502    |
| セットアップと操作 .....                         | 503    |
| キックスタンドの調整 .....                        | 504    |
| 機械の位置決め .....                           | 505    |
| ケーブルロック .....                           | 505    |
| 操作 .....                                | 505    |
| ケーブルの送り出し/送り戻し .....                    | 505    |
| 排水管へのケーブル挿入 .....                       | 506    |
| 排水管の清掃 .....                            | 507    |
| 詰まった部分での作業 .....                        | 507    |
| ツール/ケーブル端が引っ掛かった場合の取り扱い .....           | 507    |
| 引っ掛かった工具の解放 .....                       | 507    |
| ケーブルの回収 .....                           | 507    |
| 清掃機の排水 .....                            | 508    |
| 運搬と保管 .....                             | 508    |
| 運搬 .....                                | 508    |
| 保管 .....                                | 508    |
| 保守に関する注意事項 .....                        |        |
| 清掃 .....                                | 508    |
| AUTOFEED ユニット .....                     | 508    |
| ケーブルの交換 .....                           | 509    |
| ケーブルとドラムの交換 .....                       | 509    |
| ドラムのケーブルの変更 .....                       | 509    |
| 内部ドラムを交換せずにケーブルを収納する場合 .....            | 509    |
| トラブルシューティング .....                       | 510    |
| 保守と修理 .....                             | 510    |
| オプション機器 .....                           | 511    |
| ケーブル .....                              | 511    |
| ツール .....                               | 511    |
| アクセサリ .....                             | 511    |
| 充電器とコード .....                           | 511    |
| 廃棄 .....                                | 511    |
| 電磁両立性 (EMC) .....                       | 511    |
| 適合宣言 .....                              | 裏表紙の内側 |
| 製品寿命期間保証 .....                          | 裏表紙    |
| 取扱説明書原本 (英語) .....                      |        |

## 安全に関する記号表示

この取扱説明書および製品では、安全に関する重要な情報を伝えるための記号や表示が使用されています。このセクションではこれらの記号と表示の意味を解説します。

 この記号は、安全に関する警告記号です。けがを負う危険があることを警告しています。けがや死亡につながる危険を避けるため、この記号を伴った安全注意事項すべてに従ってください。

**⚠ 危険** 「危険」は、適切な対応を取らない場合に、死亡や大けがにつながる危険な状況を示しています。

**⚠ 警告** 「警告」は、適切な対応を取らない場合に、死亡または大けがにつながる可能性のある危険な状況を示しています。

**⚠ 注意** 「注意」は、適切な対応を取らない場合に、軽度または中度のけがにつながる可能性のある危険な状況を示しています。

**注** この表示は、機器の保全に関する情報を示しています。



この記号は、本機器を使用する前に取扱説明書をよくお読みいただく必要があることを示します。取扱説明書には、機器を安全かつ適切に操作するための重要な情報が記載されています。



この記号は、本機の取り扱い時や使用時に、目を負傷する危険を抑えるために必ずサイドシールド付きの安全メガネまたは安全ゴーグルを着用することを示します。



この記号は、ケーブルをより適切に管理し、ケーブルのねじれ、よじれ、破損の危険を避けるために、機械のケーブル出口ユニットを排水口から 15 cm (6") 以内に保つ必要があることを示します。詳細については、マニュアルをお読みください。



この記号は、この機器には RIDGID RB-18XX シリーズのバッテリー (RIDGID RB-1825 や RB-1850 など) を使用できることを示します。



この記号は、ケーブルのねじれ、よじれ、または破損の危険があることを示します。回転部品が本体部品にぶつかったり、挟まったり、本体を切ったり、押し潰したりする場合があります。



この記号は、機器の取り扱い時や使用時に、排水管の内容物による感染、やけど、その他の重大なけがの危険性を減らすために常時 RIDGID 排水管清掃用手袋を着用する必要があることを示します。



この記号は感電の危険があることを示しています。



これは情報記号であり、隣接する QR コードをスキャンすると製品情報 (操作マニュアルを含む) を閲覧できることを示します。

## 電動工具に関する一般的な安全上の注意事項\*

### ⚠ 警告

本電動工具に付属の安全に関する警告、指示、イラスト、仕様をすべてお読みください。下記記載の指示に従わないと、感電、火災、重大な人身傷害を招くおそれがあります。

**警告表示と取扱説明書はすべて、今後の参考のために必ず保管してください！**

本警告に記載される「電動工具」とは、電源接続式 (コード式) 電動工具またはバッテリー駆動式電動工具を意味します。

### 作業区域に関する安全事項

- 作業区域は清潔を保ち、適切な照明を心がけてください。散らかった場所や暗い場所での作業は事故につながるおそれがあります。
- 可燃性の液体、気体、粉じんなど、爆発性雰囲気が存在する場所では電動工具を操作しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんやガスに引火するおそれがあります。

- 電動工具の使用中は、子供や関係のない人を作業場へ近づけないでください。作業中に注意が乱されると、操作のコントロールを失うおそれがあります。

### 電気に関する安全事項

- 電動工具のプラグは電源コンセントに適合していなければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アース (接地端子) 付き電動工具にはアダプタープラグを使用しないでください。プラグを変更せずに適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を低減できます。
- パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などの接地面やアース面に身体が触れないようにしてください。身体が触れると感電の危険が大きくなります。
- 電動工具を雨や水、湿気に晒さないでください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- コードを乱暴に取り扱わないでください。決して、コードを使って電動工具を持ち運んだり、コードを引っ張ってプラグを外したりしないでください。熱源、油、先の尖った物、可動部品の近くにコードを置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険性が高まります。

\*本書の電動工具に関する一般的な安全警告は、必要に応じて該当する UL/CSA/EN 62841-1 規格から抜粋したものです。このセクションにはさまざまな種類の電動工具に関する一般安全慣行が記載されています。すべての注意事項がすべてのツールに当てはまるとは限らず、中には本機に該当しないものもあります。

- 電動工具を屋外で操作する場合は、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外専用の延長コードを使用することで、感電の危険を軽減できます。
- やむを得ず湿気のある場所で電動工具を使用する場合は、漏電回路遮断器 (GFCI) で保護された電源を使用してください。GFCI を使用することで、感電の危険を軽減できます。

### 作業者の安全に関する注意事項

- 電動工具を使用するときは、油断せずに常に細心の注意を払い、常識に則って操作を行ってください。疲れている場合、または薬物、医薬品やアルコールの影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が大けがの原因となることがあります。
- 個人用保護具を使用してください。常に安全メガネを着用してください。けがを防止するため、作業条件に応じた防塵マスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの個人用保護具を着用してください。
- 電動工具を誤って始動させないように十分注意してください。電動工具を電源やバッテリーパックに接続したり、片付けたり持ち運んだりする前に、スイッチがオフの位置になっていることを確認してください。スイッチに指をかけたまま電動工具を持ち運んだり、スイッチがオンの状態で電動工具に電力を供給したりすると、事故の原因となります。
- 電動工具のスイッチを入れる前にすべての調節キーやレンチを取り外してください。レンチやキーが本機の回転部に装着されたままにしておくと、けがの原因となるおそれがあります。
- 腕を伸ばしすぎないようにしてください。常に足元をしっかりとらせ、バランスを保ってください。このようにすることで、不測の事態でも電動工具の制御がしやすくなります。
- 作業に適した作業着を着用してください。ゆるい衣服やアクセサリは身に付けないでください。髪はまとめ、可動部に衣服が巻き込まれないようにしてください。ゆるい衣服やアクセサリ、長い髪は可動部に巻き込まれるおそれがあります。
- 吸じん装置に接続できるようになっている場合には、必ず正しく接続し、適切に使用してください。集じん装置を利用することにより、粉じんによる被害を減らすことができます。
- 使い慣れていることによる過信のために機器の安全原則を無視したりすることのないよう注意してください。不注意な動作は、ほんの一瞬で重篤な傷害につながるおそれがあります。

### 電動工具の使用と手入れ

- 電動工具の無理のある使用を避けてください。用途に適した電動工具を使用してください。正しい電動工具を使用することにより、意図された速度で、より円滑に、より安全に作業を行うことができます。
- スイッチで電源のオン/オフができない場合は、電動工具を使用しないでください。スイッチによる制御がきかない電動工具は危険です。必ず修理してください。
- 電動工具の調整、付属品の変更、または保管を行う前に、電源からプラグを外し、取り外し可能な場合には電動工具からバッテリーパックを取り外してください。こうした予防措置をとることで、本機が不意に始動する危険を軽減できます。
- 使用していない工具は、小児の手の届かない場所に保管してください。電動工具やその操作手順に不慣れな人には、操作をさせないでください。訓練を受けていない人による電動工具の操作は危険です。
- 電動工具と付属品の保守管理。可動部がずれたり動かなくなったりしていないか、部品に破損がないか、また他にも電動工具の作動に影響し得る状況がないかを点検してください。損傷がある場合には、使用する前に必ず修理を行ってください。電動工具の点検保守が十分ではないために多くの事故が発生しています。
- カuttingツールは、鋭利で清潔な状態に保ってください。手入れの行き届いたCuttingツールを使用することで、作業を簡単かつスムーズに実行できるようになります。
- ハンドルやグリップの表面は清潔で乾いた状態に保ち、オイルやグリースが付着しないようにしてください。ハンドルやグリップ面が滑りやすくなっていると、予期しない状況が発生したときに電動工具を安全に操作・制御できません。
- 電動工具、付属品、ツールビットなどは各々の取扱説明書に従い、作業の条件や内容を考慮した上で使用してください。意図された用途以外に電動工具を使用すると、危険を伴う状況が発生する可能性があります。

### バッテリー工具の使用および取扱い

- メーカー指定の充電器でのみ充電してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災のおそれがあります。
- 電動工具は、専用のバッテリーパックのみを使用してください。他のバッテリーパックを使用すると、負傷や火災のおそれがあります。
- バッテリーパックを使用していないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ねじなど、端子どうしが接続する可能性のある他の小さな金属物から離しておいてください。バッテリー端子をショートさせるとやけどや火災のおそれがあります。

- 正しく使用しないと、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリー液が眼に入った場合は、医師の診察も受けてください。漏れたバッテリー液が炎症や火傷を起こすおそれがあります。
- 破損した、あるいは改造されたバッテリーパックや工具は使用しないでください。破損したり改造されたバッテリーは、予測できない動作をして、火災や爆発、けがの原因になることがあります。
- バッテリーパックや工具を火気や高温にさらさないでください。火気や130°Cを超える温度にさらすと、爆発するおそれがあります。
- すべての充電指示に従ってください。また、説明書に記載されている温度範囲外でバッテリーパックやツールを充電しないでください。不適切な充電や指定された範囲外の温度での充電は、バッテリーを損傷させたり、火災の危険性を高めることがあります。

### 保守点検

- 電動工具の修理は資格のある修理技術者が、元の部品と同一の交換部品のみを使用して行ってください。これにより、工具の安全性を確実に維持できます。
- 破損したバッテリーパックは絶対に修理しないでください。バッテリーの修理は、メーカーまたは認定されたサービス提供者のみが行ってください。

## 本機に関する安全情報

### 警告

この項には、本工具固有の安全上の重要事項が記載されています。

感電またはその他の重篤なけがの危険性を抑えるために、ドレンクリーナーを使用する前に、以下の注意事項を慎重にお読みください。

**警告表示と取扱説明書はすべて、今後の参考のために必ず保管してください！**

本取扱説明書は、作業員が使用時に参照できるよう、本機と一緒に保管してください。

### Cordless SinkSnake を安全にお使いいただくために

- 回転しているケーブルは、メーカーが推奨するグローブを着用し手を保護した状態でのみ取り扱ってください。ラテックス製や大きすぎるグローブまたは布切れは、ケーブルに巻き付く可能性があるため、大けがを負うおそれがあります。
- 機械が作動している間は、ケーブル先端の回転を止めないようにしてください。ケーブルに必要以上の応力がかかってケーブルにねじれやよじれ、または破損が生じ、大けがに至る恐れがあります。

- 排水管路内に化学薬品、バクテリア、その他の毒物や感染性物質の存在が疑われる場合には、メーカーが推奨するグローブの内側にラテックスまたはゴム製のグローブを着用し、ゴーグル、顔面シールド、防護服、ガスマスクを使用してください。排水管には、火傷を負わせたり、毒性や感染性物質であったり、その他の大けがを負わせる可能性がある化学薬品、バクテリア、その他の物質が含まれることがあります。
- 衛生面での正しい実践を心がけてください。本機を取り扱っているときや、操作中に、喫煙や飲食を行わないでください。ドレンクリーナーの取り扱い後または操作後には、石鹸を含んだ温水を使用し、排水管の内容物に触れた両手と他の体の部分を洗浄してください。この措置は、毒物や感染性物質に触れたことによる健康危害の危険を軽減するのに役立ちます。
- 適用管径に合ったドレンクリーナーのみを使用してください。適合しないサイズのドレンクリーナーを使用すると、ケーブルのねじれ、よじれ、破損の原因となる場合があります。負傷する恐れがあります。
- 1人の作業員が、ケーブルとスイッチの両方を管理する必要があります。ケーブル先端の回転が停止した場合に、ケーブルのねじれやよじれ、破損の発生を防止するために、作業員は本機のモーターの電源を切ることが可能でなければなりません。
- 機械のケーブル引出口が排水管の注入口から 15 cm (6") 以上離れないようにして機器を設置してください。または、15 cm (6") 以上離れる場合は、剥き出しになったケーブルを的確に保護してください。距離が大きくなると制御上の問題が生じる可能性があり、ケーブルのねじれ、よじれ、または破損の原因となります。ケーブルのねじれやよじれ、破損が起きた場合、打撲や圧挫損傷を被る恐れがあります。
- ケーブルの端を排水管の外側にして工具を操作しないでください。回転するケーブルが急に動いたり、直撃したり、引っかかったり、切断したりする可能性があります。本機を始動する前に、ケーブルを排水管に少なくとも 0.3 m (12") 挿入してください。
- 説明書に記載されている場合を除き、本機を逆回転で操作しないでください。逆転操作はケーブル損傷の原因となり得るものですが、詰まった箇所からケーブル先端を取り出す（ねじって緩める）場合や曲がった部分を動かす場合にはこの操作を行います。
- ケーブルは、ドラム内で反転するなどして、引っかかったり、伸ばされたり、ねじれたりした場合にエネルギーを蓄えるバネです。本機が「オフ」の場合でも、蓄えられたエネルギーによりケーブルが予期せず動いたり、ねじれたり、折れ曲がったりしてけがをする可能性があります。このような状況では、ケーブルの周囲に注意を払い、けがの危険を減らしてください。
- ゆるい衣服やアクセサリは身に付けしないでください。髪はまとめ、可動部に衣服が巻き込まれないようにしてください。ゆるい衣服やアクセサリ、髪が可動部に巻き込まれる可能性があります。

- 作業員が水中にいる場合または本機が水中にある場合は、**本機を操作しないでください。**本機を水中で操作した場合、感電のリスクが高くなります。
- 運転中に他の埋設管（天然ガスや電気など）と接触する危険性がある場合は**使用しないでください。**カメラによる排水管の目視検査をお勧めします。クロスボア、不適切に設置された埋設管、損傷したドレンにより、ケーブルが埋設管に接触して損傷を与える可能性があります。感電、ガス漏れ、火災、爆発、またはその他の重大な損害またはけがを引き起こす可能性があります。
- **アタッチメントの交換や調整、保管、運搬、工具を使用していないときは必ず、バッテリーを取り外してください。**これにより、偶発的に始動するリスクが軽減されます。
- **RIDGID® K-46 Cordless Sink-Snake を使用する前に、以下を読み、内容を理解してください。**
  - 本取扱説明書
  - バッテリー充電器の取扱説明書
  - 本機で使用する他の機器または材料の取扱説明書。

あらゆる指示や警告に従わないと、物的損害および／または重大な人身傷害を招くおそれがあります。

## RIDGID 連絡先情報

RIDGID® 本製品についてのお問い合わせ先：

- お住まいの地域の RIDGID® 販売店にお問い合わせください。
- 最寄の RIDGID のお問い合わせ先については、RIDGID.com をご覧ください。
- ProToolsTechService@Emerson.com から Ridge Tool 技術サービス部門に連絡していただくか、米国およびカナダ内では 844-789-8665 まで電話でお問い合わせください。

## 概要

RIDGID® Model K-46 Cordless SinkSnake™ は、適切なケーブルを使用して直径 19 mm ~ 76 mm ( $\frac{3}{4}$ "~3") の排水管（シンク、浴槽、シャワー、小便器など）を清掃するドレンクリーナーです。仕様を参照してください。

K-46 には AUTOFEED® ユニットが搭載されており、AUTOFEED レバーを押すだけでケーブルの送り戻しが可能です。スライド・アクション・ケーブル・ロック装備により、ケーブルの駆動と手動での送り出しが改善されました。フロントグリップは 360° 回転できるため、狭いスペースでもアクセス/操作が簡単になります。

K-46 Cordless SinkSnake は、RIDGID RB-18XX シリーズの充電式バッテリーを搭載しています。可変速度の瞬時オン/オフスイッチでモーターの動作を制御し、FOR/Neutral/REV スwitchを使用してケーブルの回転方向を選択できます。

ユニットには密閉ドラムが備わっているため、手や作業エリアを清潔に保つことができます。この内部ドラムは交換が容易なだけでなく、内部でケーブルがねじれることや漏れを防止しています。可変速度スイッチを押すと、作業エリアがライトで照らされます。

一体型のキックスタンドが、さまざまな操作位置で本機の重量を支えます。

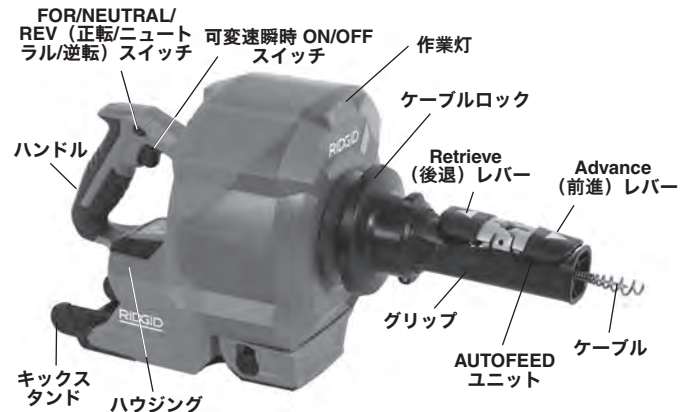


図 1A – RIDGID® K-46 Cordless SinkSnake

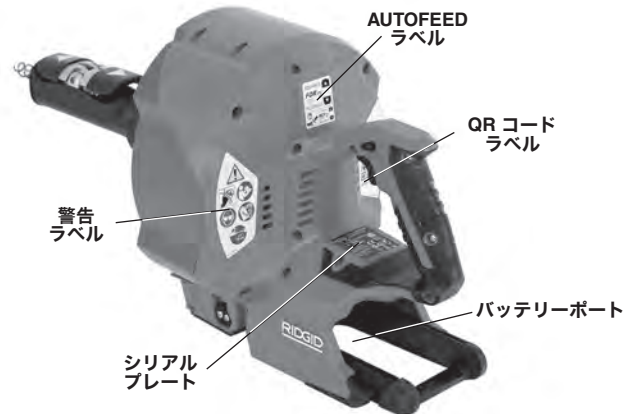


図 1B – RIDGID® K-46 Cordless SinkSnake

| 制御部                                    | マーク          | 機能       | マーク | 機能        |
|----------------------------------------|--------------|----------|-----|-----------|
| 可変速スイッチ                                | 可変速瞬時 ON/OFF |          |     |           |
| FOR/NEUTRAL/REV<br>(正転/ニュートラル/逆転) スイッチ |              | 順回転      |     | 逆回転       |
| AUTOFEED レバー                           |              | ケーブルの前進* |     | ケーブル後退*   |
| ケーブルロック                                |              | ケーブルロック  |     | ケーブルロック解除 |

\*FOR (正転) で回転している場合。

図 2 – コントロールチャート



図 3 – 機械のシリアル番号 – シリアル番号の下 4 桁は製造年月を表しています (MMYY)。

## 仕様

| ケーブルサイズ                     | 適用管径                           | 最大ケーブル長        |
|-----------------------------|--------------------------------|----------------|
| 6 mm (1/4")                 | 19 mm~51 mm<br>(3/4"~2")       | 10.7 m (35 ft) |
| 8 mm (5/16")                | 19 mm~51 mm<br>(3/4"~2")       | 15.2 m (50 ft) |
| 8 mm (5/16")<br>IC (インナーコア) | 32 mm~64 mm<br>(1 1/4"~2 1/2") | 10.7 m (35 ft) |
| 10 mm (3/8")                | 32 mm~64 mm<br>(1 1/4"~2 1/2") | 10.7 m (35 ft) |
| 10 mm (3/8")<br>IC (インナーコア) | 32 mm~76 mm<br>(1 1/4" to 3")  | 10.7 m (35 ft) |

ケーブルやケーブル長については、「オプション機器」のセクションをご覧ください。

モータータイプ ..... ブラシレス DC モーター

バッテリー ..... RIDGID RB-18XX バッテリーパック  
(「オプション機器」の項を参照)

モーター:

電圧 ..... 18V DC

電流 ..... 16 アンペア

電力 ..... 288 W

運転速度 ..... 0~560 RPM、無負荷

AUTOFEED

ユニット速度 ..... 0~8 m/min (0~26 ft/min)

制御 ..... 可変速瞬時 ON/OFF スイッチ、FOR/  
Neutral/REV スイッチ、AUTOFEED  
ユニット前進/後退レバー

重量 (ケーブルまたは  
バッテリーなし) ..... 4.4 kg (9.7 lbs)

重量 (C1-IC ケーブルを含む)  
& 2.5Ah バッテリー ..... 6.9kg (15.2 lbs)

動作温度 範囲 ..... -10°C~50°C (15° F~122° F)

保管温度 ..... 0°C~45°C (32° F~113° F)

寸法 ..... 532mm x 222mm x 287mm  
(20.98" x 8.74" x 11.3")

音圧

(LPA)\* ..... 79.2 dB(A)、K=3

音響パワーレベル

(LWA)\* ..... 87.2 dB(A)、K=3

振動\* ..... 6.036 m/s<sup>2</sup>

\* 騒音と振動の測定は、EN 62481-1 規格に即して標準化されたテストに基づいて行われています。

- 振動レベルは、他の工具との比較や暴露の予備評価に使用します。  
- 騒音と振動の放出は、工具を使用する場所や用途によって変動する可能性があります。  
- 騒音と振動の毎日の暴露レベルは、工具のそれぞれの用途および必要に応じて講じるべき適切な安全措置の面から評価しなければなりません。放出レベルの評価においては、工具のスイッチがオフで使用されていない時間を考慮に入れる必要があります。これにより、作業の全期間における露出レベルが大幅に下がる可能性があります。

すべての仕様は公称値であり、設計の改善に応じて変更される場合があります。

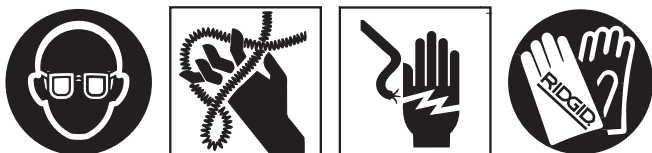
## 標準装備

特定のドレンクリーナーのカタログ番号に付属する機器の詳細については、RIDGID カタログを参照してください。

**注** 本機は排水管の清掃を目的としています。適切に使用すれば、良好な状態でちゃんと設計、配管、維持されている排水管を損傷することはありません。排水管の状態が悪くなったり、設計、製造、保守に問題があったりする場合、排水管の清掃効果が得られない、または排水管を損傷することがあります。清掃を開始する前に排水管の状態を判定する最良の方法は、カメラを使用して目視検査を行うことです。本機を不適切に使用した場合、本機と排水管を損傷することがあります。本機の使用ですべての詰まりを除去できない場合もあります。

## 使用前の点検

### 警告



感電、ケーブルのねじれや破損、化学熱傷、感染症、その他の原因による重篤なけがの危険を抑え、またドレンクリーナーの損傷を防止するために、毎回の使用の前にドレンクリーナーを点検し、問題が認められた場合には処置を講じてください。

ドレンクリーナーの点検を行うときは、常に、安全眼鏡その他の適切な防護用具を使用してください。

1. RIDGID 排水管清掃用グローブを点検します (図4) 回転中のケーブルが絡まる恐れのある穴、破れ、緩みなどがなく良好な状態であるかを確認します。不適切あるいは破損しているグローブは着用しないでください。手袋は、回転ケーブルと排水管に含まれる物質から手を保護します。もし使用中のグローブが、RIDGID ドレンクリーナー専用グローブではない、またはグローブに破損や磨耗がある場合、新しいRIDGID ドレンクリーナー専用グローブを入手するまで本機を使用しないでください。排水管の内容物から保護するために、手袋の内側にラテックスまたはゴム手袋を着用してください。



図4 - RIDGID 排水管清掃用グローブ - レザー、PVC製

2. ドレンクリーナーのバッテリーが取り外されていることを確認します。
3. 機械を清掃します (ハンドルや制御部を含む)。これにより、点検手順がスムーズになり、手元から本体や制御部が滑り落ちるのを予防できます。保守に関する注意事項に従って機械の清掃、保守を行ってください。
4. 以下の点に関して機械を点検してください：
  - 組み付け、成形は適切であるか。
  - 破損、磨耗、不足している部品、調整されていない部品や動きにくい部品がないか。
  - 警告ラベルが貼付されており、判読可能か (読み取れない部分がないかの確認) (図1 参照)
  - ケーブルを送り戻す際に、自由に円滑に動くか。
  - AUTOFEED ユニットを点検します。フィードレバーはスムーズかつ自由に動く必要があります。
  - 安全性や正常性を妨げる条件が他にないか。

問題が見つかった場合には、問題箇所の修理が完了するまで本機を使用しないでください。
5. ケーブルとカッターから付着物を除去します。ケーブルに磨耗や損傷がないかを点検します。点検項目は以下のとおりです。
  - 表面に明らかなへこみがないか。(ケーブルは丸いワイヤーでできており、断面も丸い形状です)。
  - よじれが複数個所にあたり、過度に大きくないか。(角度 15 度ほどの小さなねじれは整形できます)。
  - ケーブルコイル間の隙間が不均等になっていないか (これは、引っ張る、ねじる、逆回転させるなどの操作によりケーブルが変形していることを表します)。
  - 濡れたまま保管したか、排水管清掃用の化学薬品に触れたことによる過度の腐食がないか。

こういった磨耗や損傷はケーブルを弱くし、使用中にケーブルがねじれたり、破損したりする危険を高めます。カッターを点検します。磨耗や損傷のあるケーブルとカッターは本機を使用する前に新しいものと交換してください。

ケーブルカップリングに磨耗や損傷がないかを点検します。カップリング・プランジャー・ピンが自由に動き、確実に保持されるように完全に伸びていることを確認します。必要に応じて、軽い油を施してください。
6. 使用している他の機器においても、取扱説明書に従って点検と保守を行い、正常に機能していることを確認します。

## セットアップと操作

### 警告



感電、火災、本機の転倒、ケーブルのねじれや破損、化学熱傷、感染症、その他の原因によるけがの危険を抑え、本機の損傷を防止するために、以下の手順で本機と使用区域をセットアップして操作してください。

目の損傷を防ぐため、常に目の保護具を着用してください。

RIDGID 排水管清掃用グローブは常に良好な状態で着用してください。ラテックス製や大きすぎるグローブまたは布切れは、ケーブルに巻き付く可能性があるため、大けがを負うおそれがあります。排水管清掃用グローブの内側にはラテックスまたはゴム製のグローブのみを着用してください。損傷した排水管清掃用グローブは使用しないでください。

ドレンクリーナーの取扱い時や使用時は、常に適切な保護具を使用してください。排水管には、毒性や感染性であったり、火傷を負わせたり、その他の問題を起こしたりする可能性のある化学薬品、バクテリア、その他の物質が含まれていることがあります。適切な個人用保護具には安全眼鏡と排水管清掃用グローブが常に含まれることに加えて、ラテックスやゴム製のグローブ、顔面シールド、ゴーグル、防護服、ガスマスク、安全靴なども含まれる場合があります。

機器が作動している間は、ケーブルの先端の回転を止めないようにしてください。ケーブルに必要な以上の応力がかかってケーブルにねじれやよじれ、または破損が生じ、大けがに至る恐れがあります。

AUTOFEED ケーブルが排水管の注入口から 15 cm (6") 以上離れないようにしてドレンクリーナーを設置してください。または、15 cm (6") 以上離れる場合は、剥き出しになったケーブルを適切に保護してください。距離が大きくなると制御上の問題が生じる可能性があり、ケーブルのねじれ、よじれ、または破損の原因となります。ケーブルのねじれやよじれ、破損が起きた場合、打撲や圧挫損傷を被る恐れがあります。

1. 適切な作業域を確認してください。水平で安定した乾燥した場所で操作してください。水中に立った状態ではドレンクリーナーを使用しないでください。
2. 清掃する排水管を点検します。可能な場合は、排水管へのアクセスポイント、排水管のサイズと長さ、管材質、主配管までの距離、詰まりの性質、排水管清掃用化学薬品またはその他の化学薬品の存在の有無などを特定してください。

排水管に化学薬品が存在する場合は、それらの化学薬品を含む環境で作業する上で必要な特定の安全措置について理解することが重要となります。必要な情報については、該当する化学薬品メーカーにお問い合わせください。損傷の危険性を軽減するために、排水口または区域に他の埋設管が存在しないことを確認してください。カメラによる排水管の目視検査をお勧めします。

排水管にアクセスするために、必要に応じて設置物（小便器など）を取り外します。据付設備を通してケーブルを送り込まないでください。排水管清掃機または設置物が損傷する恐れがあります。

排水管の洗浄中に管内に水が流れていると、堆積物が洗い流されるために最良の排水管洗浄結果が得られます。1-1/4" および 1-1/2" シンク排水管の場合は、これを可能にするために一部を切り取った壁用パイプ（アクセサリ）を利用することができます。設置については図 5 を参照してください。使用中に内容物がこぼれたり飛び散ったりする可能性があるため、適切に計画してください。

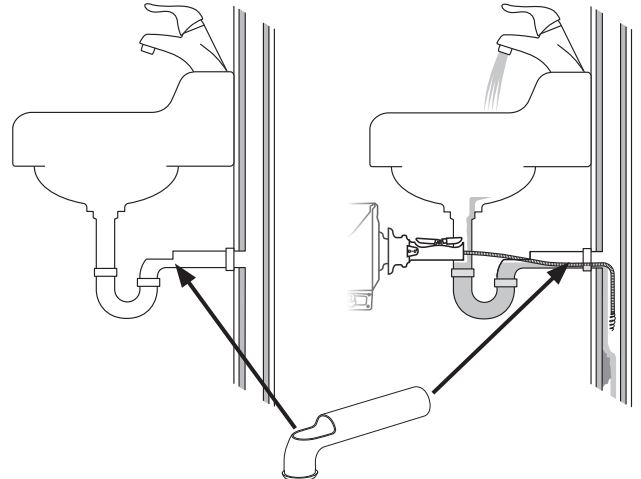


図 5 – 壁パイプの設置（使用可能なアクセサリ）

3. 用途に合った適切な機器を選定します。仕様を参照してください。その他の用途のドレンクリーナーについては、RIDGID のカタログ (RIDGID.com からアクセスできます) をご参照ください。
4. 機器がすべて適切に点検されていることを確認します。
5. 必要な場合には作業場所を保護カバーで覆います。排水管清掃の作業では周辺が汚れる可能性があります。
6. 操作に応じて、K-46ケーブル引出口を 6〜18 インチ程度の排水口に十分近い位置に配置できるかどうかを確認します。図 12 を参照してください。排水管の入口からの距離が長くなればなるほど、ケーブルのねじれやよじれの可能性が増大します。ベストプラクティスは、露出するケーブルの量を常に最小限に抑えることです。ケーブル引出口を排水口に十分近づけて設置できない場合は、同じサイズのパイプと付属品を使用して排水管の入口を延長します（図 6 を参照）。

さらに、特に AUTOFEED ユニットとケーブルロックを使用する場合は、ケーブルを適切にサポートするために、ケーブルを真っすぐ、またはほぼ真っすぐに配線する必要があります。ケーブルの方向を複数回または大幅に変更すると、ケーブルがねじれたり折れ曲がったりするリスクが高まり、ケーブルが損傷したり、オペレーターが負傷したりする可能性があります。排水管をドレンクリーナーまで延ばすと、ケーブルを排水管に挿入しやすくなります。



図 6 – AUTOFEED ユニットの 15 cm (6") 以内の範囲にできるようにする排水管延長の例

7. 状況に合った適切な先端ツールを選びます。

K-46 Cordless SinkSnake のほとんどのケーブルは、バルブオーガー一体型の構造になっています。小さな径の補助排水管の場合にはこれが適しています。バルブオーガーを使用すれば、支障のある部位を探索して頑固な障害物を管から引き出すことが可能になります。

K-46 Cordless SinkSnake と併用できる C-4、C-6、C-6IC ケーブルには、排水管清掃のための様々なツールを取り付けられるオス型カップリングがついています。

詰まりの性質がわからない場合には、ストレートオーガーまたはバルブオーガーを用いて詰まり物を探り、一部を回収して検査することを推奨します。

詰まり物を特定できれば、その用途に合った先端ツールを選択します。まず詰まった場所に一番小さい先端ツールを通し、詰まっている水が流れるようにします。排水管に水が通り始めると、破片や切れ端も一緒に流されます。いったん排水管が流れ始めれば、詰まりの性質に応じたその他の先端ツールを使用することが可能です。

適切な先端ツールの選択は、様々な具体的な状況によって変わるため、作業者の判断となります。ケーブルアタッチメントは他にもツールが用意されています。一覧については本書の「オプション機器」セクションを参照

してください。Ridge Tool のカタログにもツールに関するその他の情報が記載されています。このカタログには RIDGID.com からアクセスできます。

8. 必要に応じて、ケーブル端にツールを取り付けます (図 7 参照)。接続がしっかりと固定されていないと、使用中にカッティングツールが外れ落ちる恐れがあります。その際、ケーブル端側にあるばね式のプランジャーがスムーズに動き、またカッティングツールを保持していることを確認してください。引き戻した位置でピンが引っかかると、使用中にカッティングツールが外れ落ちる恐れがあります。

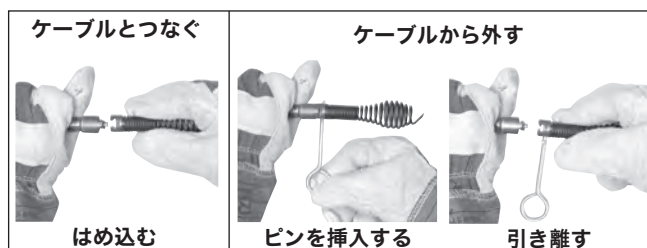


図 7 – ツールのカップリングとカップリングの解除

- 9 作業区域を見直し、本機と作業区域に作業員以外の人を近づけないようにするための仕切りなどが必要かどうかを判断します。ドレンクリーナーの作業工程中に乱雑な状態が生じる可能性があると共に、作業員以外の人による作業の妨害になる場合があります。

### キックスタンドの調整

K-46 ドレンクリーナーには調整可能なキックスタンドが付いており、使用中にドレンクリーナーの重量を支えることができます。キックスタンドには、収納、スタンディング、傾斜付きの 3 つの構成があります。キックスタンドを調整するには、引き出して目的の位置に回転させ、押し込んで固定します (図 8 参照)。キックスタンドで支えられるのはツールの重量のみです。立ち上がった座ったときに、ツール/キックスタンドを押し下げたり、ツールを使用して支えたりしないでください。キックスタンドが壊れる可能性があります。使用しないときは必ずキックスタンドを保管場所に移動させてください。

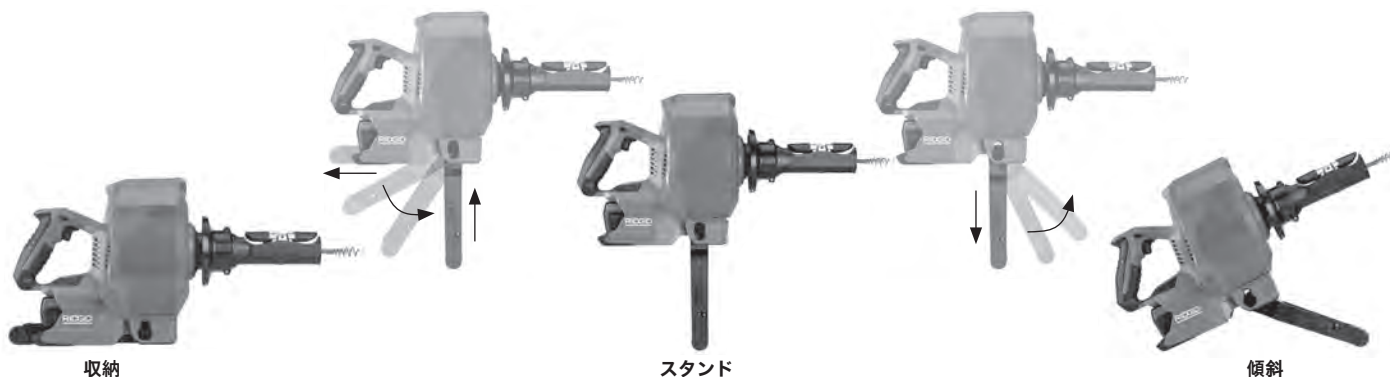


図 8 – キックスタンドの調整

## 機械の位置決め

|                                                                                                |                                                                                   |                                                                                                    |                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>操作位置 1 - 保持</b></p> <p>ドレンクリーナーは両手で保持されており、どこにも寄りかかっていません。</p> <p>キックスタンドは収納位置にあります。</p> |  | <p><b>操作位置 3 - 傾斜</b></p> <p>ドレンクリーナーは平らな面に置かれ、排水口に向かって上向きに傾けられています。</p> <p>キックスタンドは傾斜位置にあります。</p> |  |
| <p><b>操作位置 2 - 静止</b></p> <p>ドレンクリーナーは平らな面に置かれています。</p> <p>キックスタンドは収納位置にあります。</p>              |  | <p><b>操作位置 4 - スタンド</b></p> <p>ドレンクリーナーは平らな面に置かれています。</p> <p>キックスタンドはスタンド位置にあります。</p>              |  |

図 9 - 正しい操作位置

## ケーブルロック

ケーブルロックは、詰まりを解消する際に、ドラム内のケーブルが最小限の場合、または排水管から詰まりを取り除く場合など、ケーブルのグリップを強化する必要があるとのために備わっています。ケーブルロックは、ケーブルが回転している場合でも回転していない場合でも使用できますが、AUTOFEED ユニットをケーブルロックと同時に使用することはできません。通常、ロックはロック解除位置のままになります。ロックするには、ケーブルロックをドラムの方に押し戻して所定の位置に固定します。ケーブルロックを所定の位置に保持する必要がある場合があります。ロックを解除するには、ケーブルロックをドラムから引き離します。

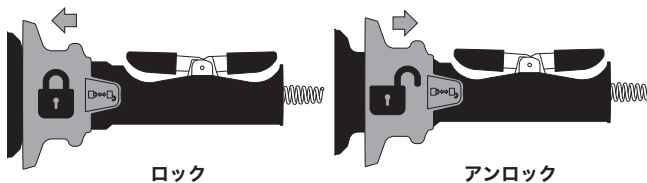


図 10 - ケーブルロック

## 操作

1. ツールとケーブルの端を排水管に少なくとも 0.3m (12") 挿入します。ケーブルを機械のケーブル引出口から排水口まで直接送り込みます。ケーブルは、カーブや方向の変化を最小限に抑え、露出するケーブルの量を最小限に抑える必要があります。
2. 乾いた手で、フル充電のバッテリーを機械のバッテリーポートに挿入します。

3. ケーブルと機械のコントロールを維持できるように、適切な操作位置を取ります。以下が可能なことを確認します。
  - 可変速スイッチと AUTOFEED レバーを含む、ドレンクリーナーを制御する。
  - バランスを正しく保つことができ、身体を伸ばしすぎる必要がなく、機械、排水管またはその他の危険物の上に倒れこむことがないことを確認する。
  - 機械のケーブル引出口から排水管の開口部までの距離を許容範囲内に維持する (図 12 参照)。
4. FOR/Neutral/REV (正転/ニュートラル/逆転) スイッチを FOR (FOR-WARD) の位置にします。まだ可変速スイッチは踏み込まないでください。FOR/REV (正転/逆転) はドラム/ケーブルの回転が正転か逆転かを表すもので、ケーブルが動く方向を指すものではありません。本書で特別に指示されている場合を除き、ケーブルは逆転 (REV) させないでください。本機を逆転で作動させると、ケーブルが損傷する恐れがあります。

## ケーブルの前進/後退

K-46 には、特定の作業条件に応じてケーブルの前進/後退に複数の方法があります。使用できる位置、排水管からの距離、使用するタイミングなどについては図 12 を参照してください。

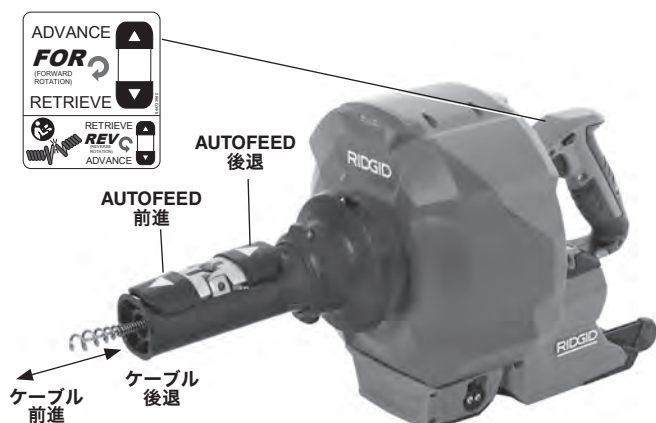


図 11 – AUTOFEED ユニットの制御

注: 本機を REV (逆転) に設定した場合、AUTOFEED ユニットの前進と後退は逆になります。

### 排水管にケーブルを挿入する

少なくとも 30 cm (12") 分のケーブルが排水管に挿入されており、ドレンクリーナーのケーブル引出口部位が排水口からの許容距離を超えていないことを確認します。

排水管口までのケーブル引出口距離と使用条件に応じて機械の正しい操作方法を確認するには、図 12 を参照してください。

可変速スイッチを押して機器を稼働させます。ケーブルを排水管に送り出します。回転しているケーブルが、排水管内に徐々に入ります。露出しているケーブルは常に監視してください。ケーブルが排水管の外、屈曲部、またはカーブの外側に溜まらないようにしてください。ケーブルのねじれ、よじれ、破損の原因となります。



図 13 – AUTOFEED ユニットでのケーブルの送り出し

| 操作位置    | 方法                     | 排水管<br>までの<br>最大距離   | 使用するタイミング                                                                                                                                                                                                                            | 操作                                                                                                                                                                                                                         | 図 |
|---------|------------------------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 1/2/3/4 | AUTOFEED<br>ケーブル<br>前進 | 最大<br>15 cm<br>(6")  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 排水管の近く。</li> <li>• 排水管に直接 (またはほぼ直接) アクセスできます。</li> <li>• ケーブルが回転している必要があります。</li> <li>• 機械を保持している時に使用する必要があります。</li> </ul>                                                                  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スイッチを押してケーブルを回転させます。</li> <li>2. 送り出し/送り戻しを押して、ケーブルを送り出し/送り戻します。</li> </ol> <p>A – 送り出し<br/>R – 送り戻し</p>                                                                         |   |
| 1/2/3/4 | ケーブル<br>ロック            | 最大<br>30 cm<br>(12") | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ケーブルグリップを強化する必要がある場合。「ケーブルロック」セクションを参照。</li> <li>• 排水管に直接 (またはほぼ直接) アクセスできます。</li> <li>• ケーブルロックを使用する場合は、AUTOFEED ケーブル送りを使用しないでください。</li> </ul>                                             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケーブルロックをロックします。</li> <li>2. 本機を稼働させケーブルを前進/後退させます。</li> <li>3. ケーブルロックを解除します。</li> <li>4. ケーブルを保持/本機を移動します。</li> <li>5. 必要に応じて繰り返します。</li> </ol>                                 |   |
| 2/3/4   | 手動<br>送り戻し             | 最大<br>45 cm<br>(18") | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械の開口部を排水管から 15cm 以内にできない場合。</li> <li>• 排水管へのアクセスが直線ではない。</li> <li>• 本機が支持されている。</li> <li>• フィッティングを使用してケーブルを操作する。</li> <li>• ケーブルの素早い送り出し/送り戻しが可能。</li> <li>• ケーブルが回転している必要はない。</li> </ul> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローブをした手で露出したケーブルの中央部を継続的に支えます。</li> <li>2. 機械から最大 15cm のケーブルを前進 (送り出し) または、後退 (引き戻し) させます。</li> <li>3. ケーブルを排水管に送る (前進) または機械に送り戻します (後退)。</li> <li>4. 必要に応じて繰り返します。</li> </ol> |   |

図 12 – ケーブルの送り出し/送り戻し方法



図 14 - 手動でのケーブルの送り出し

### 排水管の清掃

ケーブルを排水管内に通すと、ケーブルの動きが遅くなったり、排水管の堆積物が出てくるのを見る可能性があります。ケーブルが曲がったり、横に移動して、排水管から出てくるように感じますが、これは、排水管路の曲がり部分（トラップ、エルボなど）か、管内に堆積物（グリースなど）のある部分、または実際の詰まりの部分である可能性があります。ケーブルをゆっくり、慎重に進めてください。排水管の外側に必要以上にケーブルがたまらないようにしてください。ケーブルのねじれ、よじれ、破損の原因となる可能性があります。

排水管内に送り込んであるケーブルの量に注意を払ってください。大きめの排水管路または同様の移行部分（継手の部分など）にケーブルを通すと、ケーブルのねじれ、もつれが生じる場合があります。排水管から取り出せなくなる場合があります。曲がり部分へ送り込むケーブルの量を最小限に抑え、問題が起きないようにしてください。

ケーブルは内部ドラムに固定されていません。最後の 1.5 m ~ 2.13 m (5 ~ 7 ft) の部分を送り出すときは、ケーブル全体が本機から出てしまわないよう十分に注意してください。

「スピードパンプ」がついたケーブル（図 15 参照）を使用している場合、有効なケーブル長がもうないことを示します。



図 15 - ケーブルが終わりに近いことを示す「スピードパンプ」がついた C-13-IC SB ケーブル：スピードパンプはケーブルの末端から約 1.5 m (5') の部位にあります

### 詰まりの解消

ケーブル先端が回転を停止した場合には、排水管の清掃は行われていません。ケーブル先端が詰まり部分で引っ掛かった

状態でドレンクリーナーへの通電が続いている場合、ケーブルは巻き上がり始めます（ドレンクリーナーまたはケーブルのねじれやくねり、横向きになるなどの動きが生じる場合があります）。ケーブル先端の回転が止まってもドラムが回転を続けていると、ケーブルのねじれやよじれ、破損に至る恐れがあります。

障害物からケーブルを引き出します。詰まった部分からケーブル先端が解放されて再度回り始めたら、ケーブル先端を徐々に詰まり部分に送り入れます。ケーブル先端を詰まり部分に無理に通そうとしないでください。回転しているケーブル端を詰まった部分にしばらくその位置でとどめ、詰まりを完全に破砕させます。ケーブル先端が詰まり部分（一か所だけではないこともあります）を貫通して排水が流れるようになるまで、この方法で操作を行います。

詰まりを解消しようとする操作では、詰まり部分からの破片等のためにケーブルやツールの動きが妨げられることがあり、これによりその後の進展が妨げられることがあります。この場合は、ケーブルとツールを排水管から回収し、汚物などを取り除く必要があります。「ケーブルの回収」のセクションを参照してください。

### ツール/ケーブル端が引っ掛かった場合の取り扱い

ケーブル端の回転が止まり、詰まった部分から引き戻せなくなった場合には、本機をしっかりと持った状態で可変速スイッチを解除してください。モーターが停止しても、ケーブルに蓄えられたエネルギーがすべて放出されるまで、ケーブルとドラムは逆回転することがあります。本機を排水管口から 30 cm (12") 以上離さないでください。ケーブルのねじれやよじれ、破損に至る恐れがあります。指を可変速スイッチから離しておいてください。

### 引っ掛かったツールの回収

ケーブルの端が詰まりに引っかかった場合は、ケーブルロックを使用してケーブルをつかみ、慎重にケーブルを引き戻します。ケーブルを引き戻すときは、ケーブルやツールを損傷させないように十分注意してください。ケーブルが詰まりから脱出できない場合は、FOR/Neutral/REV スwitchを REV（逆転）の位置にします。ケーブルロックでケーブルを固定した状態で、可変速度スイッチを数秒間押し、ケーブルが詰まりから取れるまでケーブルを引き出します。ケーブル先端を詰まり部分から解放するのに必要な時間を超えて機械を逆転の位置で操作しないでください。ケーブルが損傷する可能性があります。FOR/Neutral/REV スwitchを FOR（正転）の位置にして、排水管の清掃を続けてください。

### ケーブルの回収

排水管の詰まりを解消すると、管路の破片などを洗い流すために水を流し始めます。排水管にホースを差し込んで蛇口からの水を流すなどの方法で行ってください。排水管が再び詰まる可能性があるため、水量に注意してください。

管内に水が流れている状態で、排水管からケーブルを引き出します。流れる水は、引き出すときにケーブルの汚れを洗浄する役目も果たします。逆転スイッチを押さないでください - スwitchが REV 位置の状態ではケーブルを回収しないでください。ケーブルが破損する場合があります。

ケーブル先端がまだ絡んでいたりする場合があるため、注意しながら回収を行ってください。

ケーブルの先端が排水管から出てくる前に、可変速スイッチを解除します。ケーブルが回転している間はケーブル先端を排水管から引き出さないでください。ケーブルが急に動き回り、大けがを負う恐れがあります。グローブをはめた手で排水管から残りのケーブルを引き出し、ドレンクリーナー内に戻してください。必要に応じてツールを取り替え、上述の手順で清掃を続行します。問題を完全に解消できるよう、排水管に数回通してプロセスを繰り返すことをお勧めします。

FOR/Neutral/REV（正転/ニュートラル/逆転）スイッチを Neutral の位置にします。乾いた手でバッテリーを取り外します。

### 清掃機の排水

本機を前方に傾けて（AUTOFEED ユニットを下にして）、機械内の水を排出します。

## 運搬と保管

### 運搬

FOR/Neutral/REV（正転/ニュートラル/逆転）スイッチを Neutral の位置にします。乾いた手でバッテリーを取り外します。すべてのケーブルを本機内に送り込みます。ケーブルからカッターまたはツールを取り外します。キックスタンドを運搬用に保管位置に動かします。

### 保管

**⚠ 警告** 本機は、屋内の乾燥した場所に保管する必要があります。屋外の場合は適切に覆い施した状態で保管してください。運搬セクションに示されているとおりに準備します。本機は、小児およびドレンクリーナーに不慣れな人には手の届かない施錠された場所に保管してください。訓練を受けていない人が本機を操作した場合、重傷を負うおそれがあります。

## 保守に関する注意事項

### ⚠ 警告

保守を行う前に、バッテリーが本機から取り外されていることを確認してください。

保守を行う場合には必ず、安全眼鏡およびその他の適切な防護用具を使用してください。

### 清掃作業

必要な場合は、中性の洗剤または抗菌溶液を使用できます。溶剤、研磨剤、その他の強力洗浄剤は使用しないでください。

機械 – 湿らせた柔らかい布片を使用して、機械を拭いてください。機械を水に浸したり、水で洗ったりしないでください。モーターその他の電気構成部品に水が入らないようにします。使用前に、ユニットが完全に乾いていることを確認してください。

ケーブル – 毎回使用後にケーブルからごみを取り除いて水洗いし、堆積物や排水管清掃用の合成物による損傷の影響を防ぎます。ドラムを乾燥させ、ケーブルの腐食を防止してください。

## AUTOFEED ユニット

毎月少なくとも一回、AUTOFEED ハンドグリップから AUTOFEED 機構を取り外し、きれいにし潤滑油を塗ります。

1. AUTOFEED ユニットにケーブルを送り込みます。
2. 3/16" の六角レンチで AUTOFEED ハンドグリップのネジを外し（図16A 参照）、AUTOFEED 機構を取り外します。



図 16A – AUTOFEED 機構を取り外す



図 16B – AUTOFEED 機構

3. 布で拭くかまたは洗浄して、AUTOFEED 機構から汚れや破片を落とします。
4. すべてのローラーベアリングを点検して、自由に回転することを確認します。ベアリングは軽潤滑油で注油できます。

5. AUTOFEED 機構のピボットポイントに少量の汎用グリースを塗布します (図 16B)。
6. 上述と逆の手順で組み立て直してください。AUTOFEED 機構はハンドグリップに対し、一方向にしかはまりません。

### ケーブルの交換

コイルケーブルには張力がかかっており、ドラム内またはドラム外に飛び出す可能性があります。意図しないケーブルの動きや衝突を防ぐため、ケーブルを移動させるときは慎重に行ってください。

### ケーブルとドラムの交換

K-46 にはケーブルを収納できるドラムが付属しています。別のケーブルを追加のドラムに保管できるため、交換を素早く行えます。ドラムとケーブルの交換方法:

1. ケーブルロックが前方に引かれており、ケーブルが外れていることを確認します。
2. 4 本のハウジングネジを約 8 回転緩めます (ネジはハウジング内に保持されるため外れません) (図 17)。

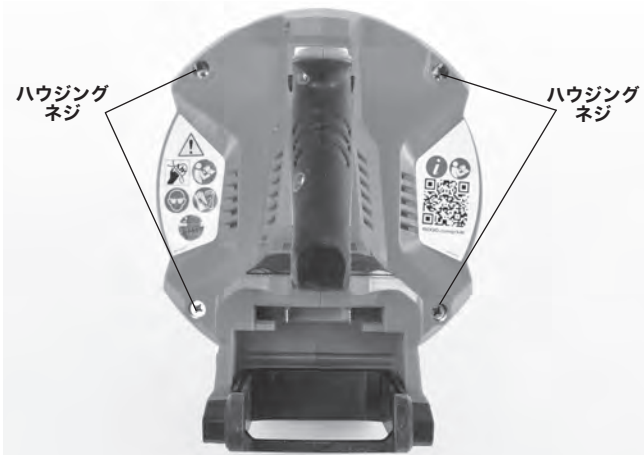


図 17 - ハウジングネジ



図 18 - ケーブルをドラムに送り込む

3. フロントハウジングを真っ直ぐに引いて外します。(図 18)
4. 両方の AUTOFEED レバーを持ち上げて、ケーブルバルブが通過できるようにします。ケーブルをフロントハウジングからドラムに引き出します (図 18 参照)。
5. ドラムをハウジングから取り外します。
6. 内部ドラムを逆の手順で元に戻します。

### ドラム内のケーブルの交換

1. ドラムにケーブルが入っている場合には取り出します。
2. 新しいケーブルは事前に完全に伸ばしておくとし、収納しやすくなります。パッケージ内のケーブルには張力がかかっていて取り出すときに飛び跳ねることがあるため、けがをしないよう注意してください。
3. 図 19 にあるように、ドラムに入る方のケーブル端から約 25 mm (1") の部分を約 15~30 度折り曲げます。



図 19 - ケーブル端を折り曲げる

4. ドラムの印に従って、ケーブルを内部ドラムに時計方向に巻き入れます (図 20 参照)。



図 20 - ケーブルを内部ドラムに収納する際は、ケーブルを時計回りに巻き入れる

### 内部ドラムを交換せずにケーブルを収納する場合

1. ハンドグリップを前方に引いて外します。必要に応じてケーブルを取り外します。

## トラブルシューティング

| 問題                      | 考えられる原因              | 解決策                               |
|-------------------------|----------------------|-----------------------------------|
| ケーブルのよじれまたは破損。          | ケーブルに無理な力がかかっている。    | ケーブルを無理に押し入れないでください。操作方法に従ってください。 |
|                         | ケーブルが管径に適合していない。     | 適切なケーブル/器具・用具を使用してください。           |
|                         | ケーブルが露出して酸化/腐食している。  | 定期的にケーブルの汚れを落としてください。             |
|                         | ケーブルが摩耗している。         | 摩耗したケーブルを交換してください。                |
|                         | ケーブルが正しく支えられていない。    | 正しくケーブルを支えてください。手順説明を参照。          |
|                         | モーターが逆転に切り替わっている。    | 逆回転は、ケーブルが管内で動かなくなった場合のみ使用してください。 |
| ケーブルが一方向にしか回転しない。       | 逆転スイッチの不具合。          | スイッチを交換してください。点検修理を実施してください。      |
| 本機が排水管清掃中にぐらつく、または振動する。 | ケーブルが均一に収納されていない。    | ケーブル全体を引き出し、均一に収まるように入れ直します。      |
| AUTOFEED ユニットが作動しない。    | AUTOFEED ユニットがゴミで満杯。 | AUTOFEED ユニットの清掃してください。           |
|                         | AUTOFEED ユニットの潤滑が必要。 | AUTOFEED に潤滑油を塗布します。              |

- ドラムに入る方のケーブル端から約 2.54 cm (1") の部分を約 15~30 度折り曲げると、挿入しやすくなります。  
(図 19 参照。)
- ケーブルのドラム端をハンドグリップの開口部に挿入します。ケーブルが時計回りに送られるように曲げ方向を調整します (図 21 を参照)。このケーブルの向きによって使用中にケーブルがより適切に支持され、ドラム内でケーブルが反転するリスクが軽減されます。残りのケーブルをドラムに送り込みます。



図 21 – 内部ドラムを交換せずにケーブルを収納する場合

## 整備と修理

### ⚠ 警告

点検や修理を正しく行わないと、本機を安全に作動させることができなくなる場合があります。

本機を点検する必要がある場合は、保守に関する注意事項に従ってください。本項で取り扱われていない問題については、RIDGID 正規修理代行店以外是对処しないでください。RIDGID のサービス部品のみを使用してください。

整備または修理は、RIDGID の正規修理代行店が行います。  
株式会社 コア・エレクトロニックシステム リジッド製品  
修理センター 〒224-0061 横浜市都筑区大丸9-16 第一幸喜  
ビル 5階 501号室 Tel : 045-534-8243 Fax : 045-624-9123  
cesridgid@ces-net.com

## オプション機器



大けがの危険を減らすため、**RIDGID K-46 Cordless SinkSnake** で使用する用途に特別に設計された推奨アクセサリ（下表に記載された付属品など）のみをご使用ください。

### ケーブル

| カタログ番号 | モデル番号    | 概要                                                    |
|--------|----------|-------------------------------------------------------|
| 50647  | S-1      | ファンネルオーガー一体型 6 mm 径 x 4.6 m (1/4" x 15')              |
| 50652  | S-2      | ファンネルオーガー一体型 6 mm 径 x 7.6 m (1/4" x 25')              |
| 50657  | S-3      | ファンネルオーガー一体型 6 mm 径 x 10.7 m (1/4" x 35')             |
| 62225  | C-1      | バルブオーガー一体型 8 mm 径 x 7.6 m (5/16" x 25')               |
| 56782  | C-11C    | バルブオーガー一体型インナーコア 8 mm 径 x 7.6 m (5/16" x 25')         |
| 89400  | C-21     | バルブオーガー一体型 8 mm 径 x 15.2 m (5/16" x 50')              |
| 56792  | C-131C   | バルブオーガー一体型インナーコア 8 mm 径 x 10.7 m (5/16" x 35')        |
| 95847  | C-131CSB | バルブオーガー一体型インナーコアスピードバンプ 8 mm 径 x 10.7 m (5/16" x 35') |
| 62235  | C-2      | ドロップ・ヘッド・オーガー一体型 8 mm 径 x 7.6 m (5/16" x 25')         |
| 56787  | C-21C    | ドロップ・ヘッド・オーガー一体型インナーコア 8 mm 径 x 7.6 m (5/16" x 25')   |
| 89405  | C-22     | ドロップ・ヘッド・オーガー一体型 8 mm 径 x 15.2 m (5/16" x 50')        |
| 56797  | C-231C   | ドロップ・ヘッド・オーガー一体型インナーコア 8 mm x 10.7 m (5/16" x 35')    |
| 62245  | C-4      | オスカップリング一体型 10 mm x 7.6 m (3/8" x 25')                |
| 62250  | C-5      | バルブオーガー一体型 10 mm x 10.7 m (3/8" x 35')                |
| 62260  | C-6      | オスカップリング一体型 10 mm x 10.7 m (3/8" x 35')               |
| 96037  | C-61C    | オスカップリング一体型インナーコア 10 mm x 10.7 m (3/8" x 35')         |

### ツール

| カタログ番号 | モデル番号 | 概要                                   |
|--------|-------|--------------------------------------|
| 62990  | T-201 | ストレートオーガー、125 mm 長 (5")              |
| 62995  | T-202 | バルブオーガー、29 mm (1 1/8") O.D.          |
| 63000  | T-203 | バルブオーガー 22 mm (7/8") O.D.            |
| 54837  | T-204 | "C" カッター 25 mm (1")                  |
| 63005  | T-205 | "C" カッター、35 mm (1 3/8")              |
| 63010  | T-206 | ファンネルオーガー、80 mm 長 (3")               |
| 63030  | T-210 | スベードカッター、25 mm (1")                  |
| 63035  | T-211 | スベードカッター、35 mm (1 3/8")              |
| 63040  | T-212 | スベードカッター、45 mm (1 3/4")              |
| 63045  | T-213 | 4 枚刃カッター、25 mm (1")                  |
| 63050  | T-214 | 4 枚刃カッター、35 mm (1 3/8")              |
| 63055  | T-215 | 4 枚刃カッター、45 mm (1 3/4")              |
| 63065  | T-217 | ドロップ・ヘッド・オーガー、110 mm 長 (4")          |
| 55457  | T-225 | ケーブル回収用オーガー                          |
| 48482  | T-250 | ツールセット: T-203、T-205、T-210、T-217、A-13 |
| 52812  | T-230 | H-D "C" カッター、50 mm (2")              |
| 52817R | T-231 | H-D "C" カッター、65 mm (2 1/2")          |
| 52822  | T-232 | H-D "C" カッター、80 mm (3")              |
| 59230  | A-13  | 3/8" ケーブルピンキー                        |

### アクセサリ

| カタログ番号 | 概要                                                  |
|--------|-----------------------------------------------------|
| 78133  | K-46 C-61C ケーブルキット内容: 内部ドラム、C-61C ケーブル、T-250 ツールセット |
| 78093  | K-46 キックスタンド                                        |

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 78098 | K-46 キャリングケース               |
| 78103 | K-46 内部ドラム                  |
| 41937 | RIDGID 排水管清掃用レザークローブ        |
| 70032 | RIDGID 排水管清掃用 PVC クローブ      |
| 56513 | 高性能 18V リチウムイオンバッテリー 2.5 Ah |
| 56518 | 高性能 18V リチウムイオンバッテリー 5.0 Ah |

### 充電器とコード

| カタログ番号 |               | 地域      | プラグタイプ |
|--------|---------------|---------|--------|
| 64383  | RBC-30 充電器    | 北米      | A      |
| 56523  | RBC-30 充電器    | ヨーロッパ   | C      |
| 64388  | RBC-30 充電器    | 中国      | A      |
| 64393  | RBC-30 充電器    | オーストラリア | I      |
| 64378  | RBC-30 充電器    | 日本      | A      |
| 64398  | RBC-30 充電器    | イギリス    | G      |
| 64173  | RBC-30 充電器コード | 北米      | A      |
| 64183  | RBC-30 充電器コード | ヨーロッパ   | C      |

これらの工具で使用可能な **RIDGID** 機器の一覧全体については、**RIDGID.com** の **Ridge Tool** カタログをオンラインでご覧いただくか、連絡先情報を参照してください。

## 廃棄

これらの工具の部品には貴重な素材が含まれており、リサイクルが可能です。お客様の地域のリサイクル専門業者までお問い合わせください。構成部品はすべての該当する規則に従って処分してください。詳細については、各地域の廃棄物管理当局までお問い合わせください。



**EC 加盟国の場合：**電気機器は家庭ゴミと一緒に廃棄することはできません！

「電気・電子機器廃棄物に関する 2012 年 7 月 4 日付欧州議会・理事会指令」（European Guideline 2012/19/EU for Waste Electrical and Electronic Equipment による）および各国の施策では、廃棄する電子機器は、別途回収し、環境に負担をかけない方法で処分することが定められています。

## 電磁両立性 (EMC)

電磁両立性という用語は、電磁放射と静電放電が存在し、他の機器に対し電磁妨害をもたらさず、ある特定の環境の中で製品が円滑に機能できる能力を示します。

これらの工具は、適用可能なすべての EMC 規格に準拠しています。しかしながら、他のデバイスに対して妨害を引き起こす可能性を完全に排除することはできません。テストされたすべての EMC 関連規格は、技術文書に記載されています。

